

企画展示

# 「島根の文学者たち」

島根大学生が発信する

の世界



期間 2023年1月30日(月)～3月10日(金)

会場 島根大学附属図書館1階展示室  
(〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060)

入場料 無料

会期中の休館日・開館時間は「島根大学附属図書館 開館カレンダー」をご確認ください。→



#### 【問い合わせ先】

島根大学附属図書館  
(情報サービスグループ)  
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060  
電話: 0852-32-6087  
メール: sabisu@lib.shimane-u.ac.jp

- ※来館者の皆様へのごお願い  
感染症対策に御協力ください
- ・マスクの着用/手指の消毒
  - ・連絡先の記入
  - ・来館多数の場合の入場制限

島根は古来文学と深い縁を有する地です。紀貫之は『古今和歌集』の序に、素盞鳥尊(スサノヲノミコト)が八岐大蛇を退治して助けた櫛名田比売(クシナダヒメ)と結婚する時に詠んだ「八雲立つ出雲八重垣妻ごめに八重垣作るその八重垣を」の一首から和歌は始まると述べています。また、柿本人麻呂や後鳥羽上皇をはじめ、島根は、古来和歌文学と深い関わりを持ち続けました。

近世においては、大社の地を中心に和歌・俳諧活動が盛んに行われました。

近代以降も、森鷗外、島村抱月、入沢康夫、難波利三をはじめとする著名な文学者たちが輩出し、一方県外からは田山花袋、島崎藤村、志賀直哉、芥川龍之介らが訪れ、島根の人や風景を作品に残しました。

本展では、2022年度法文学部言語文化学科の共通演習Ⅳの受講者が、島根ゆかりの文学者たちを顕彰しようと、その事績や著作を調査し、考察を重ねた成果をパネルと展示で発表します。

島根と文学とのつながりの深さ、そこに生み出された文化の豊かさに思いを遣っていただけると幸いです。